

《メトトレキサート(リウマトレックス、メトレート)の服用について》

1. メトトレキサートについて

メトトレキサートは免疫抑制作用を持つ抗リウマチ薬です。関節リウマチによる関節の炎症を抑えることによって、痛みを軽減し、将来の関節の変形を防ぐなど著しい効果が認められています。患者さんによっては、感染症がある、腎臓が悪い、などの理由で使いづらい時もありますが、有効性が高いので世界中でよく使われている薬です。

2. 服用方法

- ① この薬は 1 週間のうち決められた日にだけ服用しますので、指示された日時を必ず守って、服用してください。また、飲み忘れた分を次回の服用時にまとめて服用することは絶対にしないでください。
- ② 医師の指示なしには他の薬を服用しないで下さい。また、この薬を服用している間は、なるべくお酒を飲まないでください。

3. 起こる可能性がある副作用

多くの患者様は副作用がなく服用できますが、以下のような副作用が知られています。

- ① **感染症**。肺炎、尿路感染症(膀胱炎や腎盂腎炎)、敗血症、皮膚や関節の感染症など急性の感染症が起こることがあります。肺炎は細菌性肺炎、ニューモシスチス肺炎、ウイルス性肺炎などがあり、高熱や全身の強いだるさ、息苦しさなどを感じます。慢性の感染症である結核、非結核性抗酸菌症、真菌症(カビ)が起こることもあります。感染症が疑われるときにはメトトレキサートの服用を中止してください。
- ② **吐き気、胃痛、食欲不振、下痢などの胃腸症状や倦怠感、頭痛、口内炎**(口の粘膜の炎症や潰瘍)が見られることがあります。このような時には、この薬の服用を中止して医師に相談してください(ただし葉酸(フォリアミン)の服用は継続してください)。
- ③ まれに、**骨髄抑制(骨髄の働きが抑えられて)**をおこし、血液中の**白血球や血小板や赤血球が減る**ことがあります。白血球が減ると感染症になりやすく、血小板が減ると出血しやすく、赤血球が減ると貧血になり息切れやめまいがします。早期発見のために、**血液検査**が必要です。骨髄抑制と同時に**口内炎**ができることがあります。大きな口内炎、多数の口内炎、口腔軟膜の潰瘍などは特に要注意です。**口内炎ができた時はメトトレキサートの服用を中止してください(ただし葉酸(フォリアミン)の服用は継続してください)。**
- ④ **間質性肺炎**は、感染ではなく薬の副作用による肺炎です。**空咳(痰の無い咳)**、微熱で始まり 38 度以上の高い熱がでて、放っておくと息苦しさも出てきます。胸部レントゲンやCT検査を行えば診断できます。このような初期症状が見られたならば、直ちに医師に連絡して受診してください。(リ

ウマチによる間質性肺炎もあります)

- ⑤ まれに、**脱毛、皮膚の発疹**が起きることがあります。
- ⑥ **肝機能障害**がおこる場合があります。軽度の肝機能障害の時は、自覚症状は全くありませんので、定期検査で早期発見することが重要です。通常、薬の中止によって、肝機能はだんだんと回復します。だるさが強いときは肝機能障害が起きている場合もありますので、早めに受診してください。
- ⑦ **B型肝炎、結核の活性化**。B型肝炎ウイルスと結核菌は、一度体内に入ると死滅することなく、体のどこかに潜んでいます。免疫抑制剤を使うことによって活性化し、発症する場合があります。薬を使用する前に、血液検査などで検査します。
- ⑧ **悪性リンパ腫**。まれに薬の副作用で、悪性リンパ腫を発症する場合があります。症状はいろいろあり、リンパ節の腫脹、皮下腫瘍、発熱、体重減少、皮膚潰瘍、下痢や嘔吐など様々です。薬をやめることによって治る場合もありますか、抗がん剤による治療が必要になる場合もあります。

4. 副作用を防ぐために

- ① この薬の副作用は、あるパーセンテージで必ず起きます。避けることは不可能です。ただし、注意して使用すれば、多くの患者様が副作用なく服用できています。
- ② 副作用を悪化させない最善の方法は早期発見、早期治療につきます。このためにも、**定期的に血液検査と胸部レントゲン撮影は、ぜひ受けてください。**なお、以上のことからもお分かりのように、血液検査を拒否された方には、安全のために、本剤を処方できません。
- ③ 薬を始める前に、B型肝炎、C型肝炎、結核、真菌症、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症などがなければ検査します。
- ④ 副作用を軽減するために、週に1回**葉酸(フォリアミン)**を服用します。副作用が疑われて、**メトトレキサートを中止したときでも、葉酸(フォリアミン)は服用して下さい。**
- ⑤ 感染症を予防するために、手洗い、うがいなどの**清潔習慣**を心がけてください。
- ⑥ **特に大事な点。**体調が悪いときや脱水の時、例えば風邪、発熱、下痢、過労、強いだるさのときや口内炎がある時はメトトレキサートの服用を中止してください。ご自分の判断で構いません。ただし、葉酸(フォリアミン)の服用は継続してください。その他の副作用が怪しい時もメトトレキサートの服用を中止してください。

- 5. **その他の注意事項** この薬は胎児に好ましくない影響がありますので、妊娠している方は絶対に服用しないでください。また、この薬を服用中は妊娠をなるべく避けてください。また、妊娠希望時は妊娠前に1月経周期の休薬が推奨されています。また、男性の場合は妊娠に際して休薬は必要なくなりました。